

全ゲノムシーケンスによる尿路性器癌関連新規遺伝子変異の探索研究

< 遺伝子解析研究実施についてのお知らせ >

当院では、以下の基礎研究を実施しております。

この研究では、患者さんの尿、血液および手術時の摘出標本の網羅的遺伝子解析を行います。このような研究は、厚生労働省の「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから今回の研究に関して直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することで既存の試料を用いた研究を行うことが認められています。また、本研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて行われるものです。もしご自身の検体の本研究への提供を望まれない場合はご連絡ください。また、この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

・研究計画名

「全ゲノムシーケンスによる尿路性器癌関連新規遺伝子変異の探索研究」

・研究機関

京都大学大学院医学研究科泌尿器科学講座

・研究代表者

小林恭（京都大学大学院医学研究科泌尿器科講座 教授）

・共同研究機関

なし

・研究の意義・目的

尿路性器癌（尿路上皮癌、前立腺癌、腎癌、精巣癌、陰茎ガン）においては近年、抗癌剤治療、ホルモン治療、免疫治療などが次々と開発され奏功しているが、いずれの新規薬剤にも初めから耐性な症例や、治療経過中に耐性を獲得する症例がある。これらの抵抗性には遺伝子変異や、遺伝子発現変化が関わっていることが多く、網羅的な全ゲノムシーケンスや全発現解析を行うことで抵抗性のメカニズムを解明できることが期待される。本研究では尿路性器癌の患者の血液、尿、手術検体の全ゲノムシーケンス解析・全発現解析を行うことで新規薬剤の開発や薬物治療の効果を予測する指標を開発することを目的とする。

・研究の方法

（対象となる患者さん）

京都大学医学部附属病院泌尿器科で診療を受けた患者さんで「尿路性器癌における個別化治療

法に関する研究」に文書で既に同意されている方。

・研究実施期間： 2012年10月11日 ~ 2032年10月11日

・使用する試料：京都大学病院および泌尿器科研究室に保管されている血液、尿および手術検体

・個人情報の保護について

利用する情報および遺伝子解析データからは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除してどの提供者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう加工します。また遺伝子解析データについては京都大学泌尿器科内で厳重に管理します。

・研究結果の公表

ご協力によって得られた研究の成果は、個人が誰であるかわからないようにした上で、学会や学術雑誌およびデータベース(バイオサイエンスデータベースセンター)等で公に発表される場合があります。

・その他

本研究の対象となった場合にも薬剤や検査の負担は通常の診療と同様です。
また謝礼のお支払いもありません。

・本研究に関する問い合わせ

〒606-8507

京都市左京区聖護院川原町54 京都大学大学院医学研究科泌尿器科

北 悠希(キタ ユウキ)

TEL: 075-751-3337 / FAX: 075-751-3740

病院の相談窓口：京都大学医学部附属病院 臨床研究総合窓口

(Tel)075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp